

報道関係者 各位

県立新庄志誠館高等学校の校章について

このことについて、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

1 決定までの経過

- 校章の参考デザインを公募（令和7年1月6日～2月28日）
- 40点の応募の中から参考デザインを選考
- 参考デザインをもとに、東北芸術工科大学学長の中山ダイスケ氏が制作

中山 ダイスケ 氏 : Daisuke Nakayama

アーティスト、クリエイティブ・ディレクター、東北芸術工科大学学長
1968年香川県生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科で学んだのち、舞台美術やアート分野で活動。絵画、写真、空間作品やビデオ作品等を発表。1997年ロックフェラー財団の招待により渡米し、2002年までの5年間ニューヨークを拠点に世界で活動。1998年文化庁在外派遣員、第一回岡本太郎記念現代芸術大賞準大賞、台北（台湾）、リヨン（フランス）ビエンナーレ日本代表作家など、国内外での展覧会多数。
アート制作と並行し、ファッションショーの演出、店舗や商品などのデザイン、各種のアートディレクション、商品デザインやコンセプト提案など、様々な分野を手がける。山形では、山形県産果汁ジュース「山形代表」パッケージ、JA おきたま「やまがたグミ」パッケージ、「おいしい山形空港・庄内空港」愛称ロゴなど。

2 校章デザイン及び意図



【デザインの意図】

- 新庄北高校と新庄南高校の統合であることから、両校の校章のフォルム（六角形と三角形）を組み合わせ、「志誠館」の「志」の文字をアレンジした中に、「新庄」の「S」と「志誠館」の「S」の2つの「S」を組み込んだ。
- ブルーは、あじさいや新庄東山焼を連想させるだけでなく、最上地域の清らかな最上川とその支流、晴れ渡る空を想像できるように、そして、ゴールドは永遠に輝きを失わない色であり、持続可能な社会づくりに資する人材育成を目指す学校像に重ねた。
- 生徒が、学習や部活動など、日常で活用しやすい「身近なロゴマーク」を目指した。

3 制作者コメント

新庄を代表する文化といえば「新庄まつり」ですので、何か新庄の元気と活力を象徴するような、強いデザインにしたいと考えていました。未来を担う「志」をアレンジしている最中に、偶然2つの「S」が生まれ、その瞬間にロゴマークの全体像がくっきりと見えた気がしました。二校の伝統と特徴が統合し、新たな学校が生まれることは、地域にとって大切な出来事です。美しいブルーと、希望のゴールドに彩られる未来に期待しています。



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>



問い合わせ先

教育局高校教育課

高校未来創造室室長補佐 庄司 洋一

電話 023-630-2132

広報監 教育局長

安達 晃司